

平成 26 年 4 月 吉日

地域資源を基礎とした「置賜自給圏構想を考える会」呼びかけ人

星 寛治（農民・詩人）
鈴木道子（山形県立米沢栄養大学 学長）
九里廣志（九里学園高等学校 校長）
須藤恭子（赤湯温泉 いきかえりの宿 瀧波）
原田陽一（山形県酪農業協同組合 代表理事）
高橋 尚（生活クラブやまがた生活協同組合 代表理事）
松本政裕（共立社生活協同組合 理事長）
近藤洋介（衆議院議員）
鈴木憲和（衆議院議員、農水省OB）
舟山康江（農水省OB・前参議院議員）

地域資源を基礎とした「置賜自給圏構想を考える会」 設立総会のご案内

拝啓 寒さの中にも春の足音が聞こえてくる季節になりました。皆様にはご健勝でご活躍のこととお喜び申し上げます。

さて近年、国ごとの規制や制度の枠組みを越え、世界を一つの市場にして規模と価格とコストの果てしない競争を強いていく、こんな動きが勢いを増し、国内の零細企業、家族農業、地域経済の先細りが進んでいます。

この状況を打開するために、置賜を一つの「自給圏」ととらえ、圏外への依存度を減らし、圏内にある豊富な地域資源を利用、代替していくことによって、地域に産業を興し、雇用を生み、富の流出を防ぎ、地域経済の好循環をもたらすという、新たな視点に立った地域づくりを検討しようという声が大きくなってきています。

そこで、圏内有志が集い、置賜の農業やエネルギー資源と地域との関わりについて、人々の暮らしをつなぐ新しい地域のあり方を考える“地域資源を基礎とした「置賜自給圏構想を考える会」”設立に向けた準備を重ね、別紙「設立趣意書」(案)を作成いたしました。

基礎的生活資源の自立、自給こそ地域づくりの根本とするこの「置賜自給圏」構想は、かつて米沢藩の名君と讃えられた上杉鷹山公の地域づくりと通い合うところがあるように思われます。

つきましては、「置賜自給圏構想を考える会」の設立総会を、多くの圏内有志のご参加を得て、下記により開催したいと存じますので、ご趣旨にご賛同いただき、ご出席くださいますようお願い申し上げます。

敬 具

記

- 1 日 時 平成 26 年 4 月 12 日(土) 13:00~15:30
- 2 場 所 伝國の杜 「大会議室」(2F)
〒992-0052 山形県米沢市丸の内 1-2-1 電話 0238-26-2666
- 3 内 容 1. 設立総会
2. 記念講演 「新しいローカリズムー置賜自給圏構想への期待ー」(仮題)
講師 山形大学 人文学部長 北川忠明 氏
- 4 その他 ご出欠につきましては、別紙により 4 月 11 日(金)までお知らせ願います。
- 5 問い合わせ先

地域資源を基礎とした「置賜自給圏構想を考える会」仮事務局
〒990-0021 米沢市花沢町 2695-4(今井医院 西隣) グループホーム結いのき内
電話 090-3122-5530(井上) Fax 0238-37-0961 メール info@yuinoki.or.jp